

第2章 福岡市墓地・納骨堂に関する市民へのアンケート調査（第1回市政アンケート）

1 調査概要

（1）アンケートの目的

この調査は、福岡市民の墓地・納骨堂に対する意識調査をすることで需要予測を行い、併せて福岡市及び近郊での墓地・納骨堂の利用実態等を調査することにより、墓地行政の参考にすることを目的とする。

（2）調査時期 ： 調査票発送 令和2年6月25日 回収締切 令和2年7月10日

（3）調査の対象 ： 第1回市政アンケートに回答した30歳以上の市民

（4）調査方法 ： 郵送による送付・回収

（5）調査票 ： 別添（P56～59）

（6）回収数（市政アンケート）： 発送数622
有効回収数（サンプル数）464
有効回収率74.6%

（7）集計・分析 ： 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

2 市民へのアンケートの分析結果

標本構成

本調査で有効回収を得た対象者 464 人の属性は下表のとおりである。

性別
上段：実数（人）
下段：%

全体	男性	女性	無回答
464	210	254	－
100.0	45.3	54.7	－

年齢

全体	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
464	97	103	80	76	108	－
100.0	20.9	22.2	17.2	16.4	23.3	－

居住区

全体	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区	無回答
464	95	68	62	84	36	66	53	－
100.0	20.5	14.7	13.4	18.1	7.8	14.2	11.4	－

福岡市継続居住予定

全体	福岡市内に 住み続ける予定	市外へ転出しても、 いずれは市内に 戻って暮らす予定	いずれ市外に転出 する予定	わからない	無回答
464	384	13	22	43	2
100.0	82.8	2.8	4.7	9.3	0.4

問 20 亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の現在の有無

あなたには、現在、あなたが亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂がありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

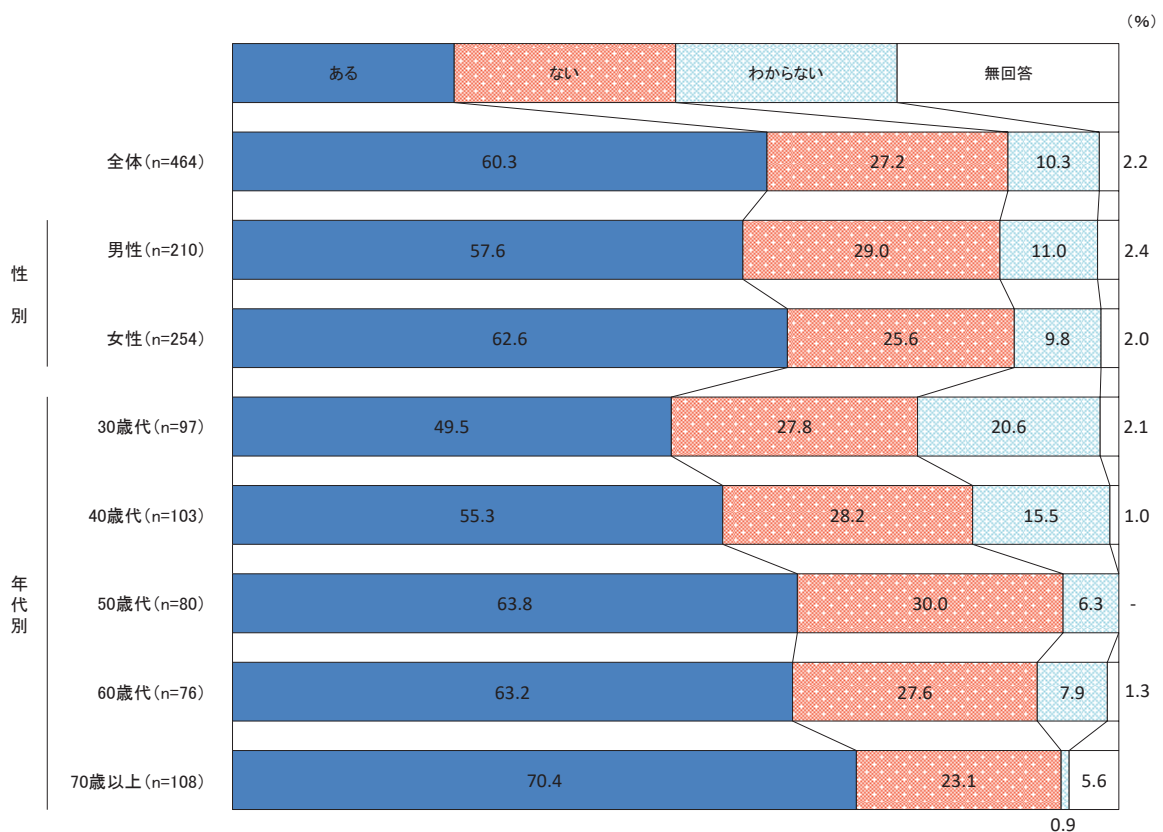
亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の現在の有無について聞いたところ、全体で「ある」は60.3%と多く、「ない」は27.2%、「わからない」は10.3%となっている。

性別に「ある」をみると、男性（57.6%）より女性（62.6%）のほうが高くなっている。

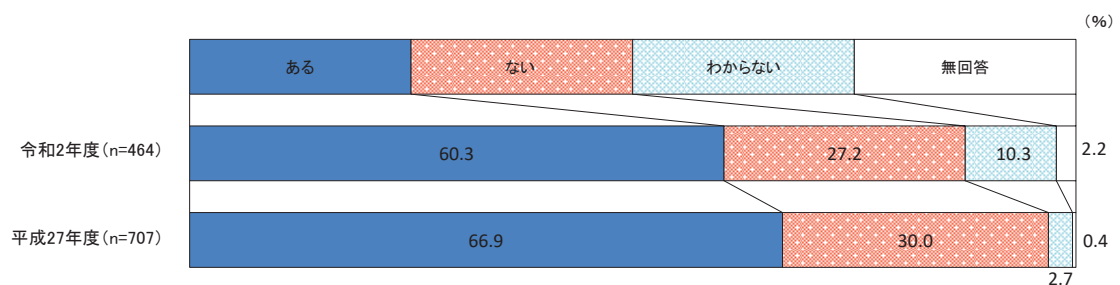
年代別に「ある」をみると、30歳代（49.5%）から70歳以上（70.4%）で加齢増加傾向を示している。

過去の調査結果と比較してみると、「ある」は令和2年度（60.3%）が平成27年度（66.9%）より低くなっている。

図表－2－1 亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の現在の有無【性別、年代別】



図表－2－2 亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の現在の有無【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

※平成27年度については選択肢「ある」は「持っている」、「ない」は「持っていない」となっている。

問20—1 亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の種類

《 問20で「1」と回答した方におたずねします。》

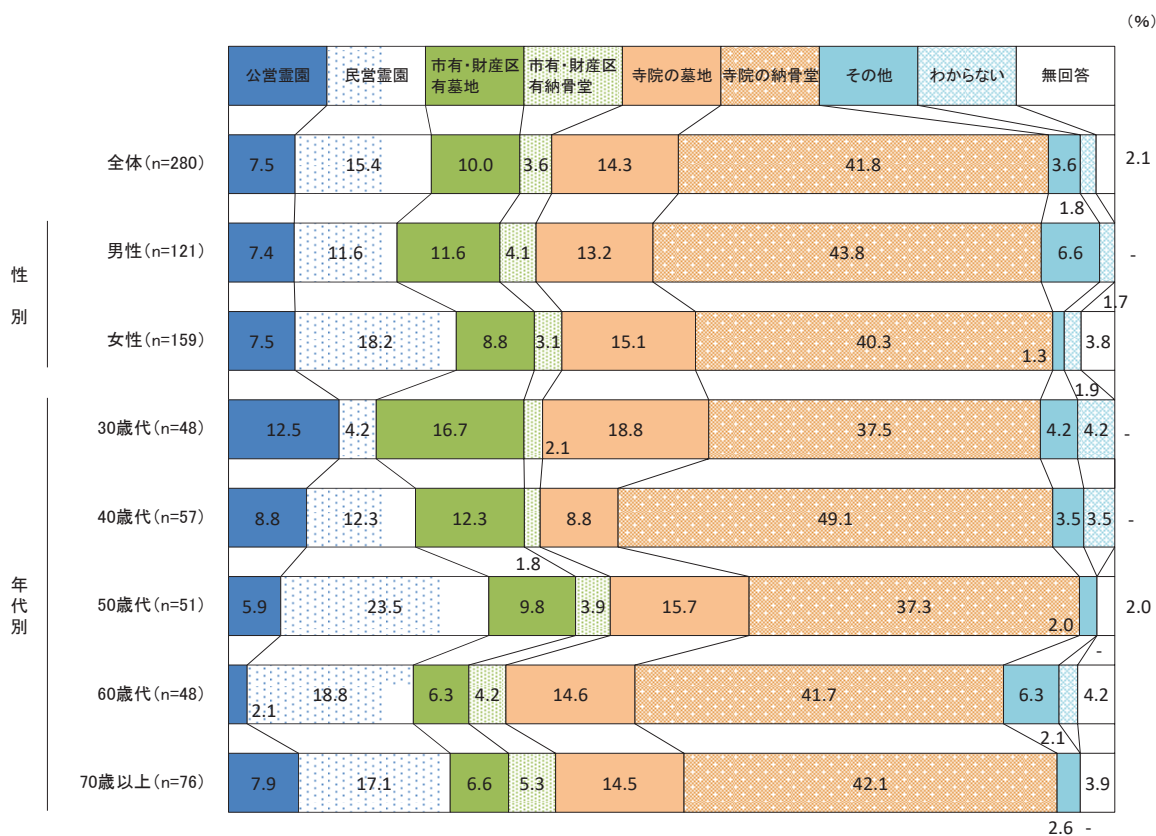
それはどのようなお墓や納骨堂ですか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

問20で「ある」と回答した280人にその種類について聞いたところ、「寺院の納骨堂」が41.8%と最も多く、次いで「民営霊園」（15.4%）、「寺院の墓地」（14.3%）となっている。

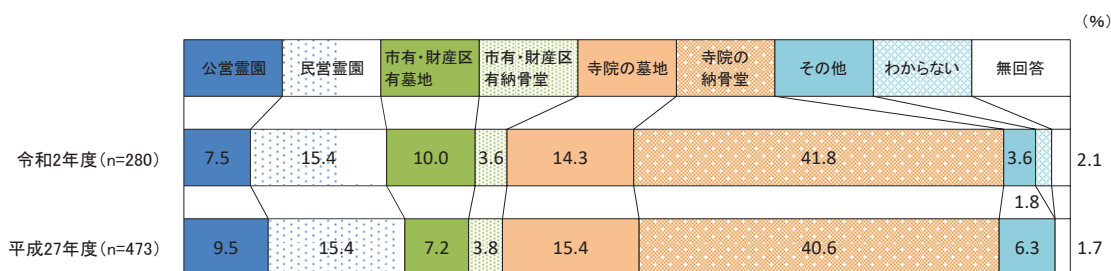
性別にみると、女性で「民営霊園」（18.2%）が高くなっている。

年代別にみると、「公営霊園」が30歳代（12.5%）で最も高くなっている。「寺院の納骨堂」は40歳代（49.1%）で最も高くなっている。

図表—2—3 亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の種類【性別、年代別】



図表—2—4 亡くなったときに納骨できるお墓や納骨堂の種類【過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

※令和2年度については「わからない」を追加している。

問 2 1 墓地・納骨堂の取得の考慮

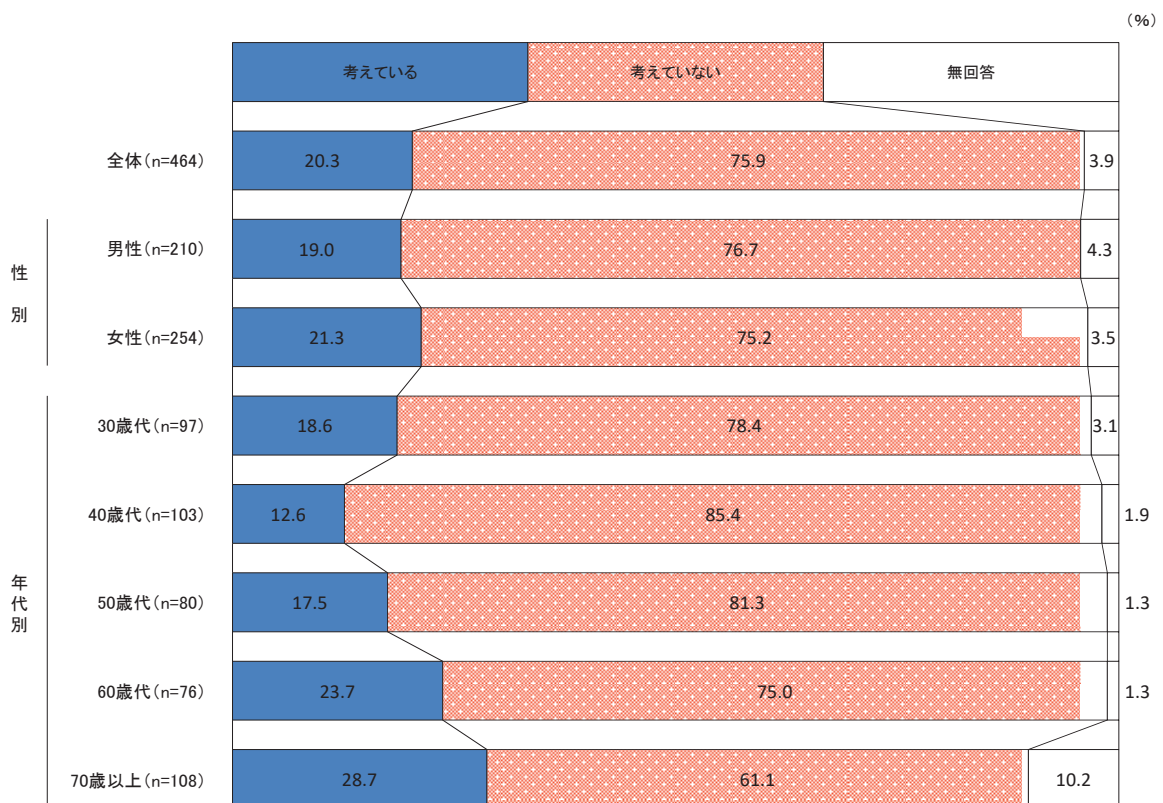
あなたは、新たにお墓や納骨堂の取得を考えていますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

墓地・納骨堂の取得について聞いたところ、「考えていない」が75.9%と多く、「考えている」は20.3%となっている。

性別では特に差異はみられない。

年代別に「考えている」をみると、40歳代（12.6%）で最も低いが、50歳代（17.5%）、60歳代（23.7%）、70歳以上（28.7%）と、加齢増加傾向を示している。

図表－2－5 墓地・納骨堂の取得の考慮【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

問 2 1－1 墓地や納骨堂の取得を考えている理由

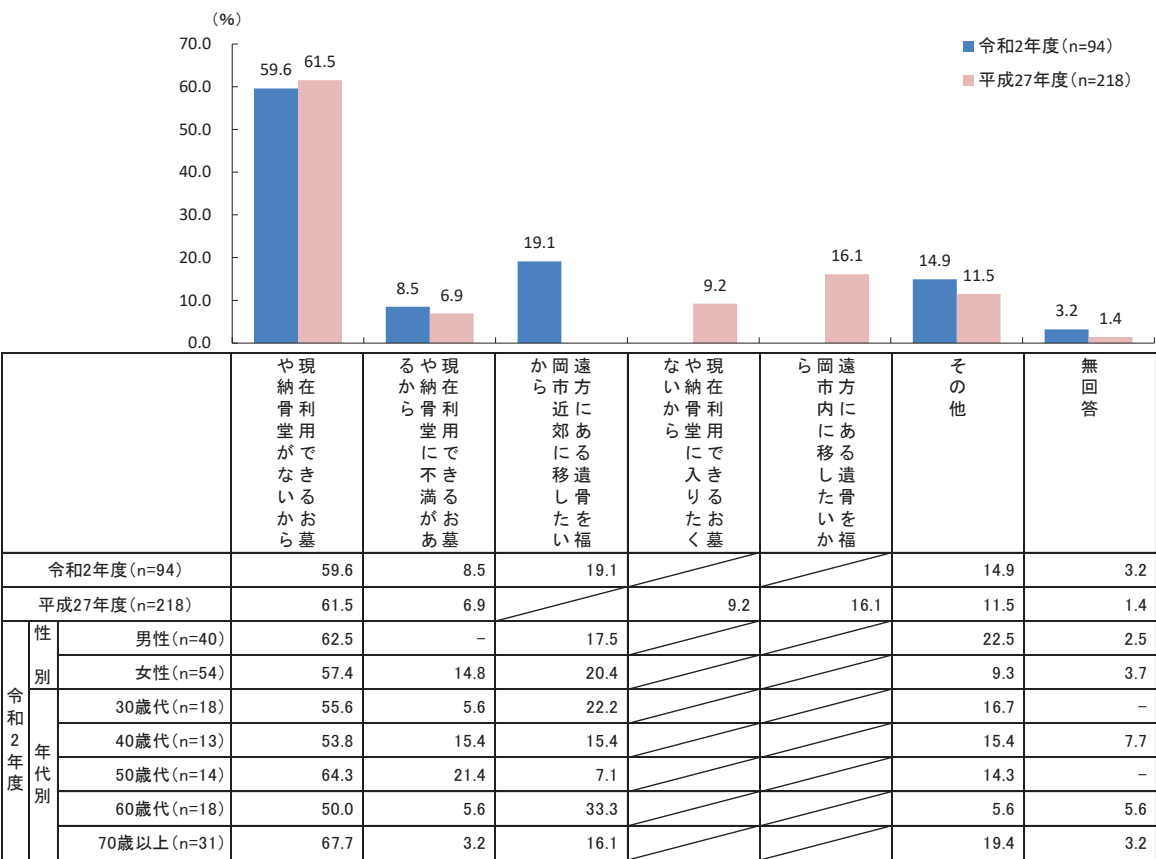
《 問 2 1 で「1」と回答した方におたずねします。》
 新たにお墓や納骨堂の取得を考えている理由は何ですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

問 2 1 で「考えている」と回答した 9 4 人にその理由を聞いたところ、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」が 5 9 . 6 % と最も多く、次いで「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」(1 9 . 1 %)、「その他」(1 4 . 9 %) となっている。

性別では、「現在利用できるお墓や納骨堂に不満があるから」で女性 (1 4 . 8 %) が男性 (0 . 0 %) より高くなっている。

年代別では、「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」で 7 0 歳以上 (6 7 . 7 %) が最も高く、次いで 5 0 歳代 (6 4 . 3 %)、3 0 歳代 (5 5 . 6 %) となっている。また「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」では 6 0 歳代 (3 3 . 3 %) が最も高くなっている。

図表－ 2 － 6 墓地や納骨堂の取得を考えている理由【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。
 ※選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂がないから」は、平成 2 7 年度では「現在、遺骨があるが、利用できるお墓や納骨堂がないため」と「現在利用できるお墓や納骨堂がないから、将来のことを考えて」の 2 つの選択肢の回答を足し合わせている。
 ※選択肢「遠方にある遺骨を福岡市近郊に移したいから」は、令和 2 年度のみ。
 ※選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂に入りたくないから」「遠方にある遺骨を福岡市内に移したいから」は、平成 2 7 年度のみ。
 ※平成 2 7 年度は 2 つまで回答。

問 2 1-2 お墓や納骨堂を取得する際、重視すること

《 問 2 1 で「1」と回答した方におたずねします。》

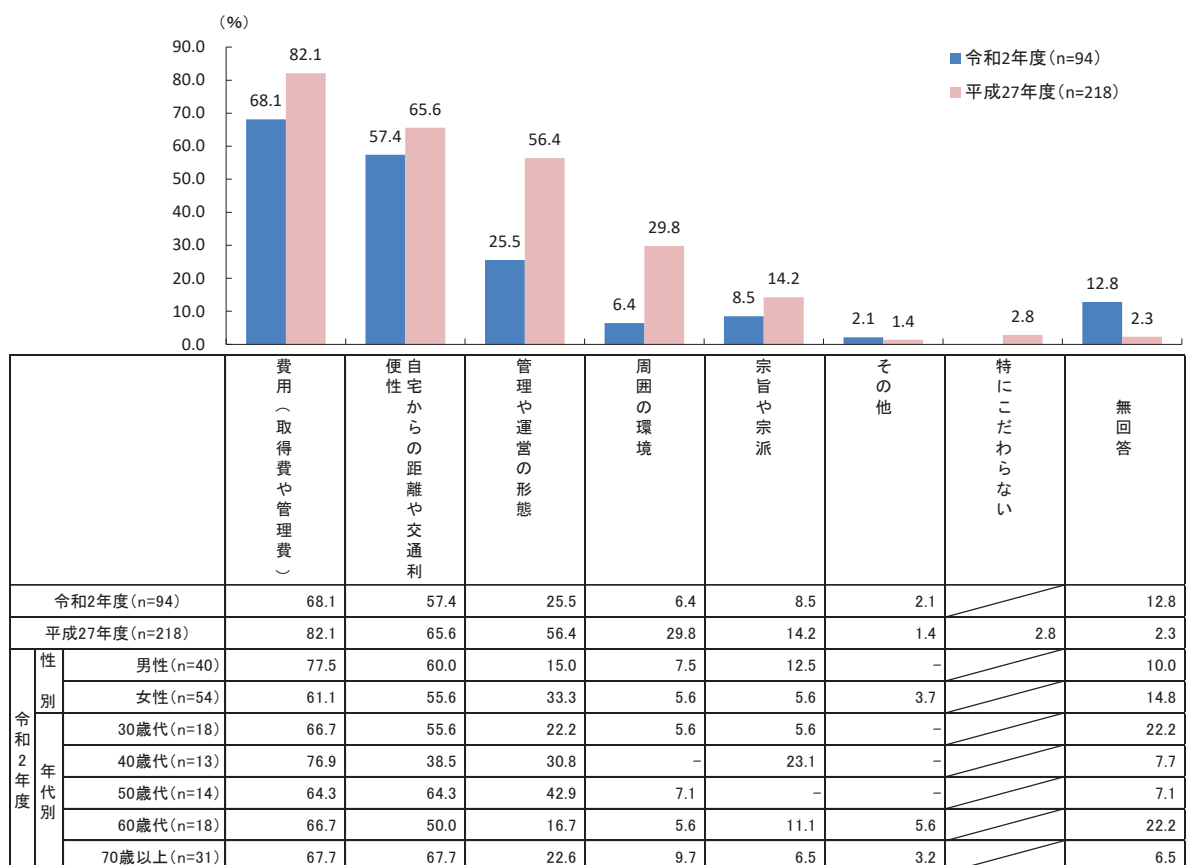
お墓や納骨堂を取得する場合、重視することは何ですか。特にあてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

問 2 1 で「考えている」と回答した 9 4 人に取得する際に重視することを聞いたところ、「費用（取得費や管理費）」が 6 8. 1 % と最も多く、次いで「自宅からの距離や交通利便性」（5 7. 4 % ）、「管理や運営の形態」（2 5. 5 % ）となっている。

性別では、「費用（取得費や管理費）」で男性（7 7. 5 % ）が女性（6 1. 1 % ）より高くなっている。

年代別にみると、「費用（取得費や管理費）」は 4 0 歳代（7 6. 9 % ）で最も高く、「管理や運営の形態」は 5 0 歳代（4 2. 9 % ）で最も高くなっている。また「宗旨や宗派」は 4 0 歳代（2 3. 1 % ）が最も高くなっている。

図表－2－7 墓地・納骨堂を取得する際、重視すること【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

※選択肢「特にこだわらない」は、平成27年度のみ。

※平成27年は回答数制限なし。

問 2 1－3 新たに取得する墓地・納骨堂の希望形態

「問 2 1 で「1」と回答した方におたずねします。」
「どのようなものを希望しますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。」

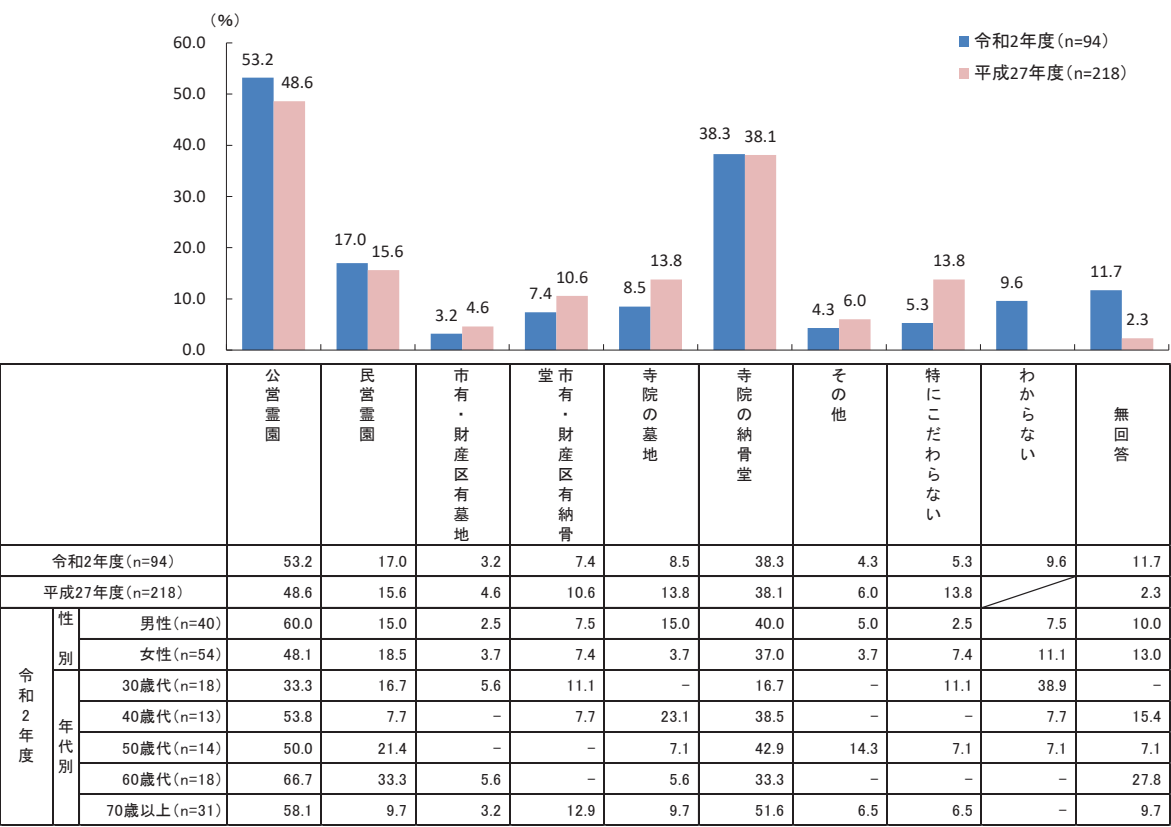
問 2 1 で「考えている」と回答した 9 4 人に取得したい墓地・納骨堂の形態を聞いたところ、「公営霊園」が 5 3 . 2 % と最も多く、次いで「寺院の納骨堂」(3 8 . 3 %)、「民営霊園」(1 7 . 0 %) となっている。

性別では、「公営霊園」は男性 (6 0 . 0 %) が女性 (4 8 . 1 %) より高くなっている。

年代別では、「公営霊園」は 6 0 歳代では 6 6 . 7 % と他の年代に比べて最も高くなっている。

過去の調査と比較してみると、「公営霊園」では令和 2 年度 (5 3 . 2 %) が平成 2 7 年度 (4 8 . 6 %) より高くなっており、「特にこだわらない」では令和 2 年度 (5 . 3 %) が平成 2 7 年度 (1 3 . 8 %) より低くなっている。

図表－2－8 新たに取得する墓地・納骨堂の希望形態【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

※令和2年度については「わからない」を追加している。

問 2 1 - 4 墓地や納骨堂の取得時期

《 問 2 1 で「1」と回答した方におたずねします。》

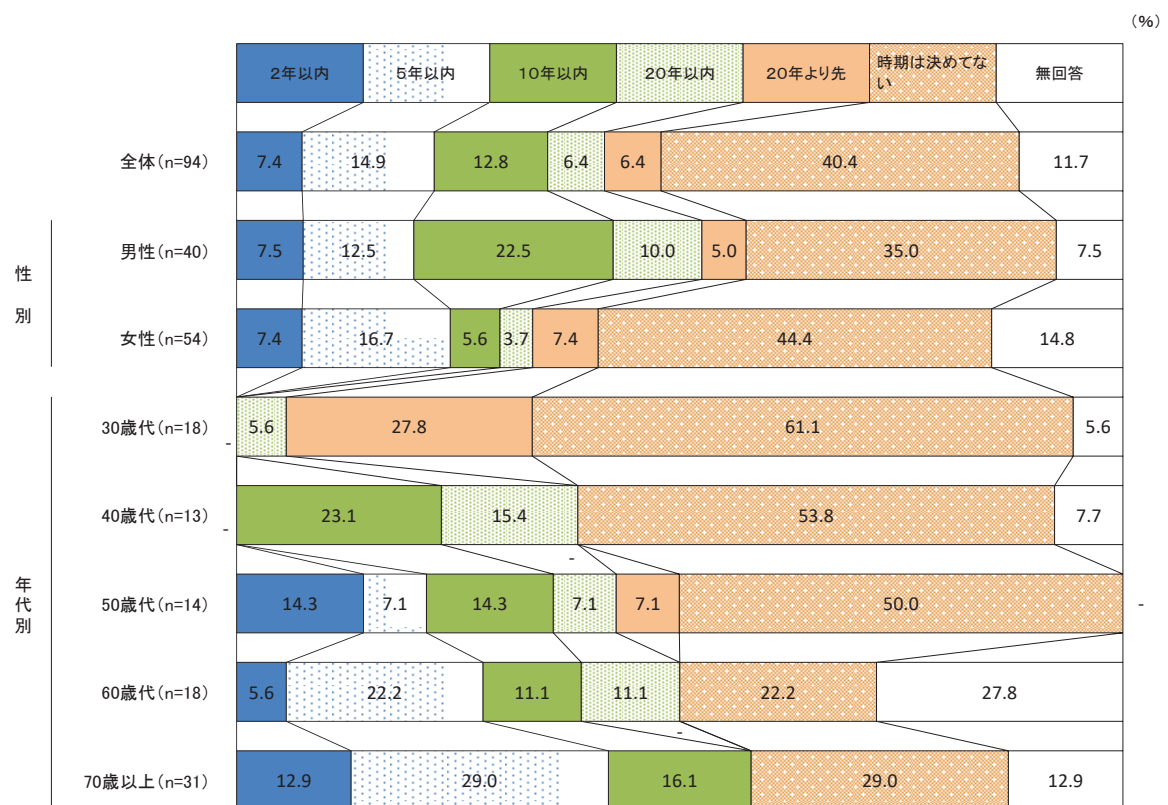
お墓や納骨堂の取得はいつ頃を検討していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

問 2 1 で「考えている」と回答した 9 4 人に墓地や納骨堂の取得時期を聞いたところ、「時期は決めていない」が 4 0 . 4 % と最も多く、次いで「5 年以内」(1 4 . 9 %)、「1 0 年以内」(1 2 . 8 %) となっている。

性別では、「1 0 年以内」で男性 (2 2 . 5 %) が女性 (5 . 6 %) より高くなっている。

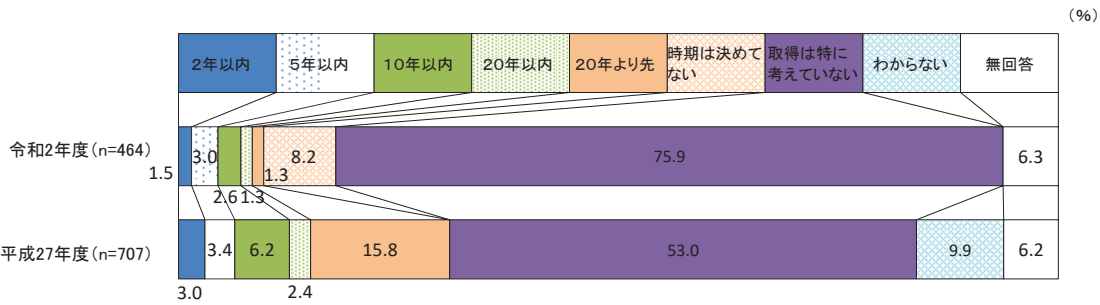
年代別では、「2 年以内」は 5 0 歳代 (1 4 . 3 %) ・ 7 0 歳以上 (1 2 . 9 %) で他の年代と比べて高くなっている。「5 年以内」は 5 0 歳代 (7 . 1 %) から、6 0 歳代 (2 2 . 2 %)、7 0 歳以上 (2 9 . 0) と加齢増加傾向を示している。

図表 - 2 - 9 墓地や納骨堂の取得時期【性別、年代別】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

図表－２－１０ 墓地や納骨堂の取得時期【過去の調査結果との比較】



※令和２年度については「時期は決めてない」を追加している。

※選択肢「取得は特に考えていない」「わからない」は平成２７年度のみ。

※令和２年度は「取得は特に考えてない」は問２１「考えてない」となっている。

問 2 2 墓地や納骨堂について感じる問題

あなたは現在、お墓や納骨堂について何か問題を感じていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

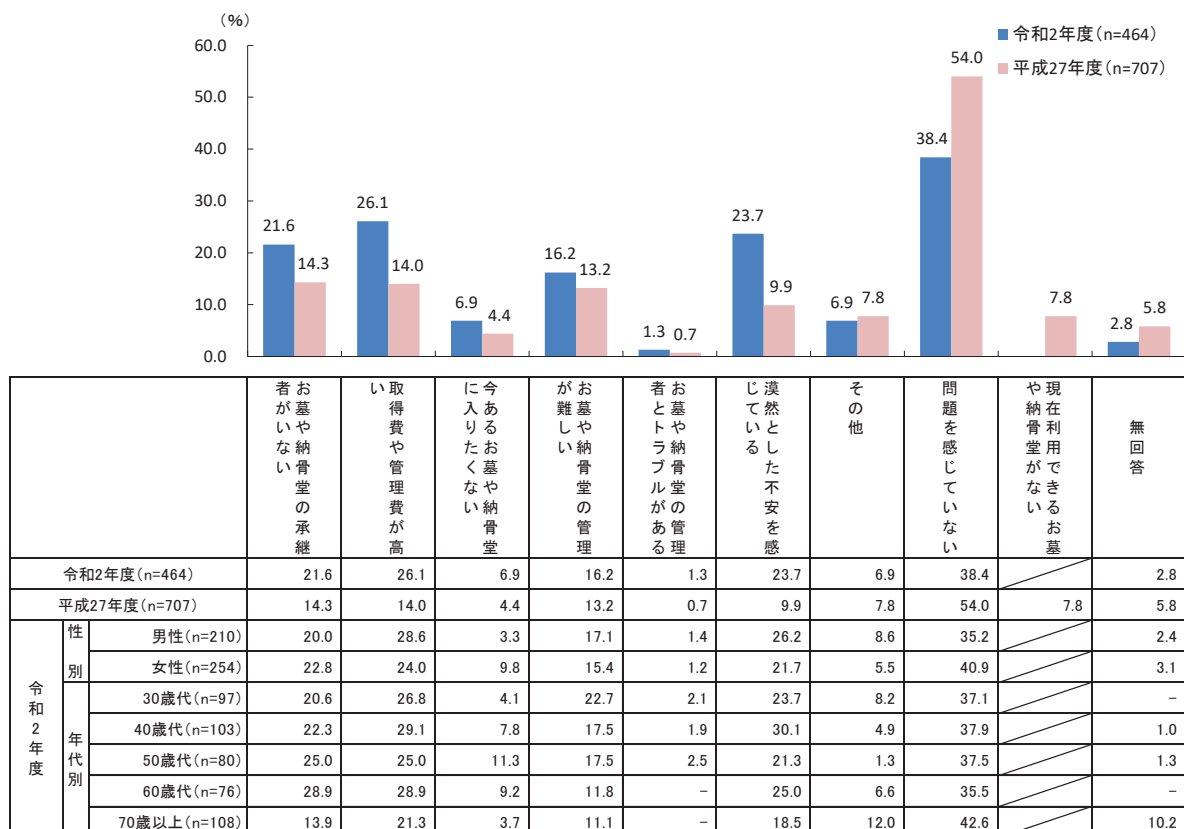
墓地や納骨堂について問題を感じているか聞いたところ、「問題を感じていない」が38.4%と最も多くなっている。感じている問題の中では「取得費や管理費が高い」が26.1%と最も多く、次いで「漠然とした不安を感じている」(23.7%)、「お墓や納骨堂の承継者がいない」(21.6%)となっている。

性別では、特に差異はみられない。

年代別では、「問題を感じていない」は70歳以上(42.6%)と他の年代に比べ高くなっている。

過去の調査結果と比較してみると、「問題を感じていない」は令和2年度(38.4%)が平成27年度(54.0%)より低くなっている。一方で「漠然とした不安を感じている」は令和2年度(23.7%)が平成27年度(9.9%)より、「取得費や管理費が高い」は令和2年度(26.1%)が平成27年度(14.0%)より、それぞれ高くなっている。

図表－2－1 1 墓地や納骨堂について感じる問題【性別、年代別、過去の調査結果との比較】



※図表上の「-」については、0.0を表す。

※選択肢「取得費や管理費が高い」は、平成27年度では「墓地・墓石の値段が高い」と「納骨堂の値段が高い」の2つの選択肢の回答を足し合わせている。

※選択肢「現在利用できるお墓や納骨堂がない」は、平成27年度のみ。